



日本国際飢餓対策機構(Japan International Food for the Hungry: 略して JIFH)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、人材育成、海外スタッフ派遣、飢餓啓発などに活動を広げてきました。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、20ヶ国60の協力団体とともに、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、現地パートナーと協力しあって、「こころからだの飢餓」に応える働きをしています。

1分間に17人(内12人が子ども)  
1日に2万5,000人  
1年間では約1,000万人が  
飢えのために生命を失っています。

# 飢餓対策ニュース

わたしから始める、世界が変わる



**年次報告**  
2012.7-2013.6  
今年度も温かいご支援を賜り  
心より感謝を申し上げます

ルワンダ・ピース国際学校の児童

## 負の連鎖を断つ「愛の倍返し」を

日本国際飢餓対策機構 財務部総主事 高橋 献一

「やられたらやり返す。倍返しだ」というせりふで一躍有名になったテレビドラマがありました。わたしもその視聴者の一人でした。勤善懲悪の痛快な話のテンポに引き込まれたものです。しかし、冷静になって振り返ってみると、これは「仕返し」が主題となっているのは明らかです。そしてこの考え方そのものが身近なところで、また民族間で、ひいては国家間での紛争の元になっているのではないのでしょうか。

旧約聖書の中に「骨折には骨折。目には目。歯には歯。人に傷を負わせたように人は自分もそうされなければならない。」という記述があります。これは報復を定めたものですが、自分が受けた損害以上の報復をしてはならないという掟でもあります。つまり倍返しは認められないということです。「倍返し」は、報復を受けた側にも「不当な報復を受けた」という思いを残し、結局は憎しみの連鎖を生み出すだけになります。イエス・キリストは「あなたの右の頬を打つような者には、左の頬も向けなさい。」と語られ、復讐という考えから離れるようにおっしゃいました。

わたしたちも、自分の利益や権利だけを主張して争うこ

とに注力するのではなく、互いを尊重しあい常に和解の道を探しながら分かち合うことを重んじれば、どんなに美しい関係を築く事が出来ることでしょうか。

「わたしから始める、世界が変わる」一人一人がこうしたことを心に留めてゆくようにすれば、まず自分の周りそして地域、と少しずつではあっても愛の輪が広がって行くのではないのでしょうか。

この1年間(2012年7月1日から2013年6月30日)に日本国際飢餓対策機構にお寄せいただいた2億8,000万円は、その9割以上がお一人当たり500円から4,000円のご寄付によるものです。世界中の8億4,200万人といわれる飢餓状態の方々に対して、わたし一人で何が出来るかと思われる方もおられると思います。しかし一人一人が継続してその手を差し伸べるところに、分かち合う愛があります。そしてそれによって多くの方の危機に瀕した命が救われ、子どもたちが未来に希望を持ち、地域の皆さんが前を向いて一歩を踏み出す力を与えられています。

これからもぜひ、飢えや貧困と闘っておられる方々に、共に愛の手を差し伸べ続けていきたいと思います。

飢餓問題等の講演希望は大阪事務所まで

●東日本大震災被災者支援と募金を継続しています!

## 国内啓発活動

この1年の主な活動

### ●2012年 世界食料デー

ルワンダの協力団体「REACH」代表フィルバート・カリサ牧師を特別講演者として迎え、親善大使の上原令子さん、ソン・ソルナム氏の協力で全国20ヶ所で開催。2,274名の参加者がありました。寄せられた16,969,205円の支援金(大会外の指定募金含む)は、ニジェール、南スーダン、ルワンダ、マリ、ブルンジ、ニカラグア、マリの支援などに用いさせて頂きました。

### ●国内啓発活動

集会訪問574回、教会訪問502回、学校訪問、講演、大学講師派遣計57回(小学校20、中学校9、高等学校13、大学15)、その他団体訪問15回



### ●ファシリテーター・トレーニング

東京基督教大学にて2013年3月18~22日に実施

●海外ワークキャンプをウガンダ、マレーシアにて8月に実施

●フィールドワーク受け入れ事業(フィリピン)

西南学院大学 年2回、東京基督教大学 年1回

●インターネット(広報活動)

フェイスブック、ツイッター、ウェブ広告からの訪問数が増加

●視聴覚教材

活動報告用動画の利用が広がる。ネット配信も好評

●ハンガーゼロ自販機設置15台(※10月末現在42台)

●特命大使

2012年4月就任 藤川武彦(在アメリカ)

2013年3月就任 近藤高史(ノア・デジタル取締役)

●親善大使

2013年6月就任 小堀英郎(ピアニスト)、MANAMI(歌手)

## 日本国際飢餓対策機構

役員・親善大使・海外スタッフ

### ■理事

岩橋竜介(理事長)、倉沢正則、木村雄二  
崔 信義、大友幸一、横田法路  
清家弘久(常務理事)

### ■評議員

古林寿真子、笠川徹三、岸 好美  
吉本慎二、岡本慎一

### ■監事

山田晶一、朝倉 章(顧問税理士)

### ■親善大使

上原令子(ゴスペルシンガー)  
森 祐理(福音歌手)  
ソン・ソルナム(フルート奏者)  
小堀英郎(ピアニスト)  
MANAMI(歌手)

### ■ハンガー・ゼロ特別大使

秋元義彦(パン・アキモト代表取締役)

### ■特命大使

藤川武彦(在アメリカ)  
近藤高史(ノア・デジタル代表取締役)

### ■海外駐在スタッフ(2013年7月現在)

【フィリピン】 酒井 保  
【ボリビア】 小西小百合  
【コンゴ民主共和国】 ジェローム・カセバ  
【ルワンダ】(2013年9月派遣) 河合朝子

**ハンガーゼロ  
サポーターを  
大募集中!!**  
現在...  
**30888口**

今すぐ▶▶▶  
各種支援の  
お申し込み  
ができます!!

●まず右の必要事項に記入して、点線の枠部分を切り取りハガキに貼って、下記の大阪事務所宛に郵送、又はこの頁をコピーして、ファクシミリで申し込みください。確認のための必要書類等を送らせていただきます。  
お電話でも申し込みできます。各事務所までおかけ下さい。

- ハンガーゼロ・サポーターとして協力します。  
毎月( )口 (1口1,000円)
- チャイルド・サポーター(世界里親会)になりたいので説明書(申込書)を送ってください。
- 海外スタッフ・サポーターとして協力します。  
毎月( )口 (1口1,000円)
- JIFH(日本国際飢餓対策機構)サポーターとして協力します。  
毎月( )口 (1口500円)
- 郵便自動引落し申込書を送って下さい。
- その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

フリガナ  
氏名: \_\_\_\_\_ 男・女

〒 \_\_\_\_\_

フリガナ  
住所: \_\_\_\_\_

..... (電話) .....

▼申込日: \_\_\_\_\_年 月 日▼NL 号

**FAX・072-920-2155**

■発行者 岩橋竜介

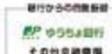
■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス http://www.jifh.org/  
eメールアドレス general@jifh.org  
フェイスブック https://www.facebook.com/hungerzero

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイトで

- 郵便振替 00170-9-68590 / 日本国際飢餓対策機構
- 他の金融機関からの自動振替 ●クレジットカード、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1  
TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室  
TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782

東北 〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-13-6 Eマオ2階E  
TEL (022)217-4611 FAX (022)217-6651

愛知 〒466-0064 名古屋市中区鶴舞3-8-10 愛知労働文化センター2F  
TEL (052)731-8111 FAX (052)731-8114

広島 〒730-0036 広島市中区袋町4-8 CLC ブックス2F  
TEL (082)546-9036 FAX (082)546-9037

沖縄 〒901-0156 那覇市田原3-8-1 コリ香ハウス201号  
TEL (098)859-4585 FAX (098)859-4540

毎月、飢餓対策ニュースを皆様にお届けするために、ひばり障害者作業所(八尾市)、生活愛、関西地区のボランティアの皆様が送作業のご協力をして下さっています。

## サハラ以南では厳しい状況が続く

2013年10月1日、国連の食料関連3機関は、2011~13年の間世界で約8億4,200万人、およそ8人に1人が慢性的な飢餓に苦しんでいた、という報告書を発表しました。これは2010~12年の数字より少し減少していますが、サハラ以南のアフリカではここ数年改善はみられず、4人に1人が栄養不足状態のままです。またこの報告書は『貧しい国々において飢餓と貧困を削減するためには、その成長が持続的であるのみならず国全体に行き渡ることが必要である』と述べています。

### ハンガーゼロ・アフリカ 海外パートナー

- FHエチオピア
- FHケニア
- FHウガンダ
- FH南アフリカ
- FHジンバブエ
- 韓国FH
- バルナバス・ファンド
- ストップ・ハンガー・ナウ
- ケニア・コイノニア教育センター
- ケニア・シーブケアセンター
- ルワンダ・ピース国際学校
- ライフ・イン・アバンドランス
- 南スーダン
- ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ
- ウガンダ・アガバ・ホスピタル
- ミニストリー
- REACHルワンダ



国内避難民支援 (コンゴ)

愛の輪を広げ 飢餓撲滅を

あなたもハンガーゼロ・サポーターになってアフリカを応援しよう！

### 自立を目指してセミナー開催

日本国際飢餓対策機構は、現地パートナーを通しての緊急食料支援にとどまらず、現地の人たちが自らの力でビジョンをもって地域を変革し、飢餓・貧困という困難を克服していけるようVOC（共同体のビジョン）セミナーを開催してきました。

2012年7月にニジェールのニアメとマラディーにおいて、当機構の海外プロジェクトアドバイザーのランディー・ホーグ師が行った、聖書に基づくこの地域変革のセミナーに各コミュニティの代表65名が集まりました。セミナーの参加者によってそれぞれの地域で肥料作りや識字教育センター用レンガ生産、医薬品用倉庫の設置などさまざまな活動が始まっています。

日本国際飢餓対策機構は引き続きこれらの現地リーダーの活動を応援、地域の自立の支援をしていきます。（2013年7月には、コンゴ民主共和国でも3日間のVOCセミナーが行われ、教会関係者と地域リーダー150名が参加、多数の難民の流入や食料不足にも拘わらずリーダーたちは着実に自立に向けた歩みを始めています。）

ケニア、ルワンダ、ウガンダでは子どもたちを支援する世界里親会の活動が続けられています。活動内容は、6、7ページをご覧ください。

ハンガーゼロ（飢餓をなくす）実現への道は厳しいですが、JIFHはハンガーゼロ・サポーターの方々と共に、希望を持ってこれらの地域の人々の物心両面の必要に応じていきます。引き続きご協力をよろしくお願いたします。



給食支援 ケニア



VOCセミナー (ニジェール)

## 復興を支えるために支援の継続を！

大震災から2年7ヶ月が過ぎました。2013年は、本格的な「復興」が目に見える形で進んできた年です。津波の浸水水田には、震災後初めての作付けが行われ、三陸では、海産物の出荷が震災前の水準に近づいてきています。公営復興住宅の建設も始まり、仮設を出て暮らすことも可能になってきました。

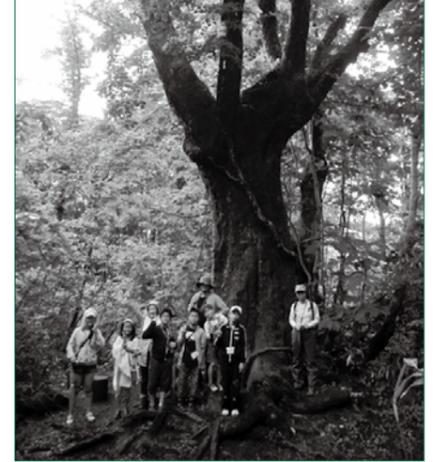
このように前進することができたのは、被災者の皆さんの努力と忍耐に加え、多くの方々が一緒に瓦礫を片づけ、泥を掻き出し、支援物資を送ってくださったからです。また心のケアとして、仮設集会場での各種イベント、慰問コンサート、復興支援品への援助など

を今も続けてくださっているからです。

当機構からは森祐理親善大使が2013年3月と6月に、上原令子親善大使が2013年5月と8月に励ましの歌をもって岩手（釜石・大槌）、宮城（亶理・南三陸）を回りました。また2013年2月には韓国からビューティフル・マインドのメンバーが、2度目のコンサートを仙台で開いてくださいました。

### 原発被災家族への励まし

また子どもを対象にした支援として「ふくしまHOPEプロジェクト」が、子どもたちに低線量地で過ごしてもらうためのキャンプ



子ども保養キャンプ (ふくしまHOPE)



被災農家の再建支援 (仙台市若林区)



ビューティフルマインドによる慰問 (今年2月)



上原令子親善大使



森祐理親善大使

を2012年3月、7月、11月、12月、2013年5月、8月の計6回開催、当機構からもお手伝いをさせていただきました。

### 支援者を支援する必要性も

長く支援活動が続く中で少しずつ見えてきたのが、支援する側の疲労です。目の前で苦しみ困っている人を見て、休まず手を差し伸べ続けた支援者側にも、疲れが見えてきています。さらに支援を続

けて頂くために、支援者自身の心と体もリフレッシュすることが必要です。そこで当機構はパーパス・ドリブンをフェローシップ・ジャパンと共同で、支援者向けのセミナーを2013年3月までに3回開催しました。参加者からは、さらに次回のセミナー開催希望の声が届いています。

この2年間、多くの方々の犠牲を伴う支援があったからこそ、こうして復興へと進むことができました。東北の地で頑張る皆さんの笑顔が、支援してくださった方々への一番の感謝の印です。しかし一般の関心が徐々に薄らいでいく中でさらに復興への道を進めるには、生活に直結する手助けが必要です。一人でも多くの笑顔が見られるように、東北のみならず共に歩んでいきたいと願っています。

(東北事務所・伊東)

アフリカ	75,903,565
ウガンダ	13,422,734
アガベ・ホスピタル・ミニストリー	548,940
農村部貧困者への食糧援助	1,031,700
保健センター	1,566,880
ワークキャンプ	2,439,199
車両購入	358,238
世界里親会	7,477,777
<b>エチオピア</b>	<b>3,503,040</b>
LIAE支援	3,503,040
<b>ルワンダ</b>	<b>4,997,664</b>
スポーツによる平和構築プログラム	405,900
VOCトレーニング	196,480
世界里親会	2,529,870
海外駐在スタッフ 河合朝子支援	1,865,414
<b>南スーダン</b>	<b>3,628,630</b>
南スーダン ルンベック村学校給食、教師育成	3,028,825
車両購入	599,805
<b>ケニア</b>	<b>5,178,595</b>
シーブケア学校 給食支援	2,770,400
コイノニア・エデュケーションセンター 給食支援	744,930
世界里親会	1,663,265
<b>ザンビア</b>	<b>169,171</b>
貧困家庭児童就学援助と収入向上プログラム	169,171
<b>ジンバブエ</b>	<b>615,168</b>
AIDS 孤児への給食支援	615,168
<b>南アフリカ</b>	<b>512,640</b>
FH南アフリカ	512,640
<b>モザンビーク</b>	<b>839,823</b>
車両購入	839,823
<b>ガーナ</b>	<b>84,829</b>
子ども支援 KFHI 経由	84,829
<b>ニジェール</b>	<b>8,113,162</b>
VOCセミナー	3,540,412
食糧援助	4,572,750
<b>タンザニア</b>	<b>1,506,267</b>
車両購入	824,712
幼児教育	681,555
<b>コンゴ民主共和国</b>	<b>3,708,974</b>
VOCトレーニング参加費援助	196,480
VOCトレーニング	1,725,784
ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ設立	1,550,110
海外駐在スタッフ ジェローム・カセバ支援	236,600
<b>ブルンジ</b>	<b>29,052,023</b>
食糧輸送費	1,473,450
食糧品(物資)	27,578,573
<b>コートジボワール</b>	<b>540,845</b>
パンの缶詰輸送費	310,350
パンの缶詰	230,495
<b>ブルキナファソ</b>	<b>30,000</b>
子ども支援 (CNBLUE)	30,000

アジア	437,817,069
バングラデシュ	4,007,735
世界里親会 (リシバラ)	2,906,075
新センタースタートアップ	974,700
パンの缶詰	126,960
<b>カンボジア</b>	<b>7,594,520</b>
ハガル子ども教育センター豆乳支援 (キリン関連労協)	2,179,382
世界里親会	5,294,478
寄付金	120,660
<b>フィリピン</b>	<b>422,880,556</b>
ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン活動資金	6,083,874
プレイズエメラルドスクール バス支援	1,207,800
TCU 滞在費	267,234
パンの缶詰	815,811
ホープ児童合唱団費用	920,000
医療費輸送費	1,375,220
物資	402,600,530
世界里親会 (ビコール)	947,043
世界里親会 (カパタガン)	2,982,287
海外駐在スタッフ/酒井 保 支援	5,680,757
<b>マレーシア</b>	<b>67,895</b>
寄付金	67,895
<b>パキスタン</b>	<b>3,266,363</b>
ガールズホステルプロジェクト	1,073,460
ムルタン地域開発プロジェクト	1,219,399
パンの缶詰	173,504
車両購入	800,000

南米	25,241,241
<b>ボリビア</b>	<b>9,107,981</b>
寄付金	26,400
世界里親会	5,912,495
海外駐在スタッフ/小西小百合 支援	3,169,086
<b>ニカラグア</b>	<b>16,133,260</b>
食料輸送費	982,300
食料品・文具(物資)	15,150,960
<b>海外緊急援助</b>	<b>4,387,710</b>
フィリピン 台風ポーファ被災者支援	832,440
ニジェール洪水被災者支援	236,670
ニジェール緊急食料援助 (2013 年度後半)	2,579,250
マリ 難民支援	487,350
ハイチ 洪水支援	252,000
<b>国内援助</b>	<b>21,236,352</b>
東日本大震災救援	21,236,352
<b>その他</b>	<b>5,854,158</b>
国際飢餓対策機構 2013 年半年分 活動資金	3,343,638
国際飢餓対策機構 分担金	1,680,000
ビジョン・オブ・コミュニティ・フェロウシップ協力金	830,520

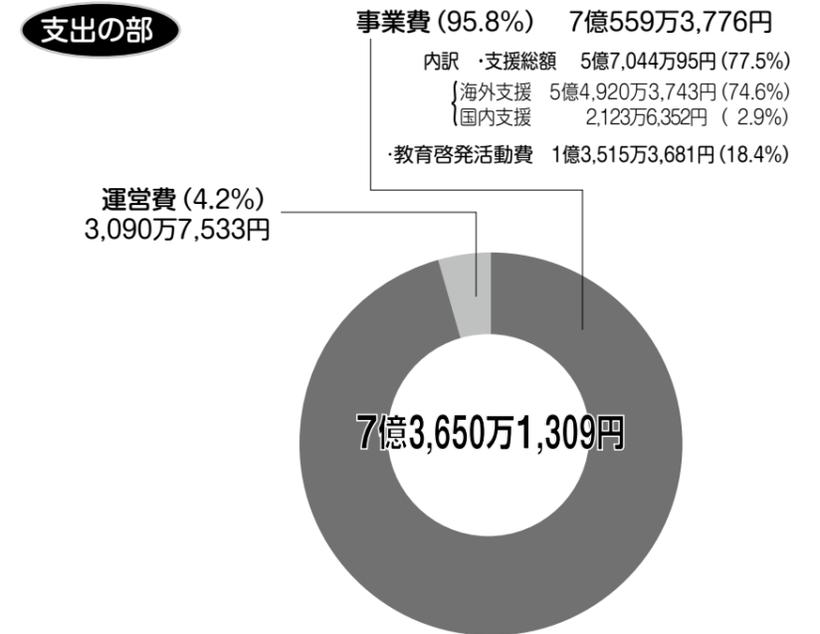
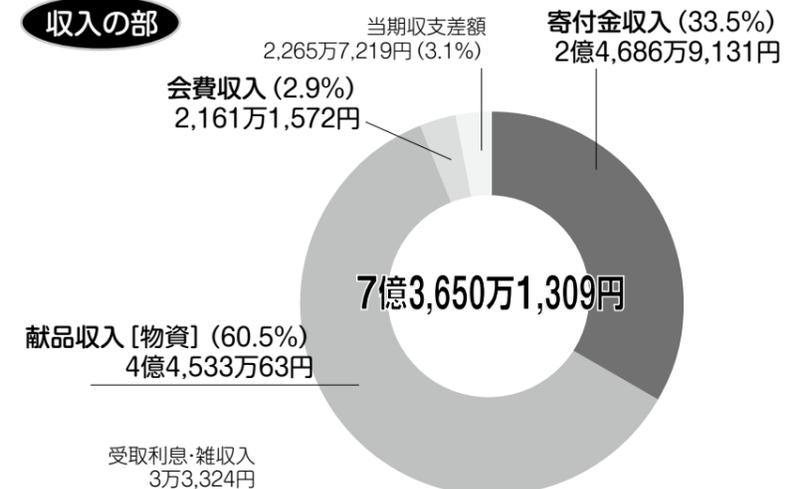
**支援合計 570,440,095**

\*数字の単位は全て円です。  
\*現地駐在スタッフの支援金には、年金・海外旅行傷害保険などを  
含んでいます。

以上の通り報告します。

2013年6月30日  
一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
代表理事 岩橋 竜介

## 決算報告



### 監査報告書

一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
代表理事 岩橋 竜介 殿

私たちが監事 朝倉 幸、山田 昌一の名義は、  
一般財団法人日本国際飢餓対策機構の2012年7月1日から  
2013年6月30日までの第2期会計年度における財産増減計算書  
および貸借対照表を監査いたしました結果、適法かつ正確である  
ことを認めます。

2013年8月3日

監事 朝倉 幸 (印)

監事 山田 昌一 (印)

第3期決算公告  
平成25年9月28日  
大阪府八尾市弓削町3丁目74番地の1  
一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
代表理事 岩橋 竜介

貸借対照表の要旨  
(平成25年6月30日現在) (単位:千円)

科 目	金 額
資の産部	
流動資産	55,643
固定資産	32,211
合 計	87,854
負債債財及産部の正部	
流動負債	9,658
固定負債	1,000
負債合計	10,658
基金	3,000
指定正味財産	0
一般正味財産	74,195
正味財産合計	77,195
合 計	87,854

官報 10月15日に掲載

## ケニアとフィリピンで新たなチャレンジがはじまる

チャイルドサポーターの皆様へ感謝をもって2012年度の活動報告をさせていただきます。

本年度は、新たに2カ国3地域において支援活動を始めました。1カ所目は、ケニアの首都ナイロビ郊外のスラムにある「シーブケア学校」です。保護者のほとんどが定職に就いていないような厳しい環境の中で子どもたちは生活しています。

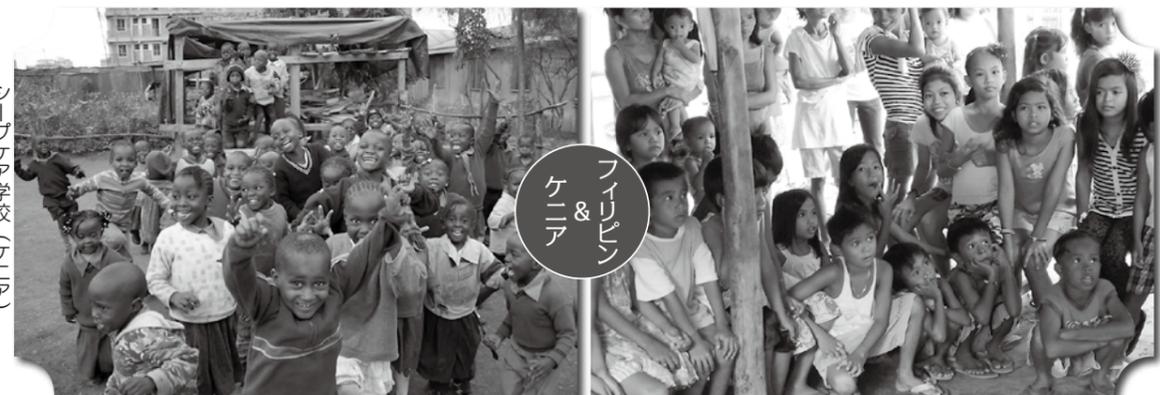
スラムに暮らす家庭では、学校の授業料や教科書・筆記具などの必要を満たすことが困難で、勉強を続けさせることができません。

世界里親会は貧しい家庭の子どもたちの学習環境を整え、学ぶことができるように、また教育を受けた子どもたちがこの地域をより良いものへ変えていく力となることを願っています。

### 教育支援とともに収入改善

2カ所目は、フィリピンのピコール地域です。ここはフィリピンでも最貧の地域で、中でも特に貧しいと位置づけられている2地区を支援しています。農村マトノグに暮らす人々の多くはココナツ

ツ栽培を収入の柱にしていますが、自分の土地を持たない小作農民なので収穫の半分以上は地主のものになります。漁村スラムに暮らす人々は漁師がほとんどですが、年に半分は台風や雨期の影響を受けて仕事ができません。農業であっても漁業であっても、収入が極めて少ない家庭では、教育費の工面は容易なことではありません。世界里親会は、子どもたちへの教育支援と保護者への収入改善の働きかけを通して、地域が自立への力をつけていくことを目指しています。



シーブケア学校(ケニア)

マトノグ(フィリピン)

### ■ モザンビークでの教育支援の実 ■

私の名前はフェリザルダ。マファンビッシ中学校で生物の先生をしています。私自身もこの中学校に通いました。「キミコ・ウチャマ(内山喜美子)」さんという里親さんから支援(1992年3月~2000年6月)を受けることができたことを、心から感謝しています。彼女はクリスチャンとして私を家族の一員のように祈り支え

### 里親さんの助けで私は飛び立てました

飛躍的な成長を遂げた元里子フェリザルダ

ています。感謝なことにベイラ市の教育大学を来年6月に卒業します。飛び立つことから始めなければ着陸はできません。何も受ける資格のない私に、愛する里親さんの助けがあったので私は飛ぶことができたのです。私は今33歳になり、すでに6歳の息子の母親です。言葉にできないくらい感謝しています。神さまが里親さんのご好意に報いてくださいますように。

てください、学校の教材や制服を下さただけでなく、彼女の支援で高等教育まで受けることができました。母子家庭でしたから、最終学年の12年生になるまで勉強できるなんて考えられないことでした。その後教員としての仕事をえて、今は母や姉たちを助けることができ

4ヵ月前から母が重い病気にかかっています。お祈りいただくと嬉しいです。里親さんに加えて、ここで私たちのそばにいて助けてくれた日本人の元スタッフ、綾子に感謝します。彼女の愛と献身は私にとって大切なレッスンとなりました。(フェリザルダ・フェリズベト)  
※モザンビークでの教育支援は2007年に終了しています。



## 支援は保護者にも大きな励ましになっています

### □ ボリビア □

活動地: コチャバンバ州タパカリ郡アワサニ、リオカイネ  
支援里子数: 289名(2012年1月に支援開始)

活動2年目に入りました。子どもたちは世界里親会の日に学用品セットを受け取り熱心に学んでいます。健康面では栄養失調をなくすためにお母さんたちが栄養食の作り方を学びました。また子どもたちは手洗い指導も受けました。

### □ ウガンダ □

活動地: ムコノ郡ナマスンビ、キョガ、ミソンバ  
支援里子数: 441名

2002年来の支援により、地域は大きく発展し2013年8月末をもって3つの地区における活動を終了し、現地リーダーの手に働きを委ねました。(この様子はNL10月号で報告、新地域での支援開始も掲載)

### □ ルワンダ □

(ピース国際学校)

活動地: 首都キガリ、ニャンザ  
支援里子数: 117名(2012年1月に支援開始)

難民や最貧困層の子どもたちを受け入れている学校です。低学年の子どもたちへの本の読み聞かせに力をいれています。本から知識を得たり世界観を広げたりできるからです。また学校給食を提供する

ことで、子どもたちの集中力が高まるようになりました。保護者や地域の人々が一緒に活動をする場も本校は提供しています。

### □ ケニア □

(シーブケア学校)

活動地: ナイロビ郊外  
支援里子数: 105名

サポーターになってくださる方をお待ちしています。(6頁参照)



フィリピン

### □ バングラデシュ □

活動地: マイメイシン・リシバラ  
支援里子数: 169名

厳密に区分された身分制度の中で自分に価値が見いだせず誰かに頼ることが常となっている人々に、世界里親会は様々な(会計・法律・リーダーシップなど)訓練を提供しました。誰もが成長できることを参加者自身が気づき励まされる機会となりました。2013年12月末で本地区の支援活動を現地の人々の手に委ねます。

### □ カンボジア □

活動地: オドー・メンチェイ州アンロン・ベン郡5地区  
支援里子数: 304名

家庭訪問を継続的に行い、教育の価値を保護者と子どもに教え続けています。通学に時間がかかったり、学費の工面が難しい子どものために「子どもクラブ」が開かれ、国語・算数・英語などを上級生が教えています。保護者たちも貯蓄組合を活用して収入改善に励んでいます。

### □ フィリピン □

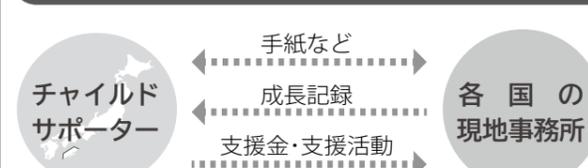
活動地①: ミンダナオ島ダバオ市カバタガン  
支援里子数: 136名

子どもたちは新学期を迎える時期に学用品の提供を受けました。また衛生環境改善のために学校のトイレの改装が行われました。給食を感謝して食べることも繰り返し教えられています。この地域の子どもたちはとても元気でよく遊びます。遊び道具はボールや縄跳びや彼らの手足です。夏休みには補習授業や聖書の学びのキャンプが行われました。

活動地②: ルソン島ピコール地域スラ地区、マトノグ地区  
支援里子数: 131名

サポーターになってくださる方をお待ちしています。(6頁参照)

### 世界里親会チャイルド・サポーターのしくみ



### 里親会費 4,000 円の内訳

- ・現地活動費
- ・学費の他、里子にかかわる家族、地域、学校に使われます。
- ・国内事務経費

- 【サポーターさんに届くもの】
- ・里子紹介資料(初回) ※きずなノート
- ・成長記録(年1回)
- ・クリスマスカード(年1回)
- ・手紙や写真の交信(随時)



★2013年里子へのクリスマスカード受付中です!